

三重大学教育学部附属教育実践総合センター紀要

第 35 号

目 次

〈原著論文〉

水リテラシーを育成する中学校社会科地理における人々の生活に関する学習	永田 成文・大富 友貴 (1～ 6)
活用型授業(学習)の意義と課題	森脇 健夫 (7～ 12)
“音楽的場”としての音楽科授業 ～教師の観を中心に～	根津知佳子・川島 雅樹 (13～ 18)
鬼ごっこ・ルール遊びの展開における保育者の指導・援助 —自由記述の分析をもとに—	富田 昌平 (19～ 26)
幼児とその親を対象とした料理教室による食育	磯部 由香・中村 浩子・平島 円 (27～ 32)
3種の“我”と3種の“医療”	新田 貴士・中野 正孝 (33～ 40)
Hyper-V WMI クラスを用いた仮想マシン群の構築	丁 亜希・山守 一徳 (41～ 46)
『日本語表現』クラスにおける対話的相互作用の分析 —対面・非対面の推敲活動から—	原田三千代 (47～ 52)
教育実践総合センターにおける現職教員研修プログラムの開発と実践	下村 勉・須曾野仁志 (53～ 58)
中国人日本語学習者のためのデジタルストーリーテリングの活用と実践	須曾野仁志・張 蘭翎・郝 皓・馬 艶燾 (59～ 64)

〈資料〉

Teaching Methods and Skills in English Education in Japan (日本の英語教育における教授法と技術)	早瀬 光秋・房 明遠 (65～ 70)
実証的データを用いた「データの分析」の構成主義的学習 —グラフ関数電卓を利用して—	田中 伸明・田中 賢治 (71～ 76)
多文化クラスにおける日本人学生と留学生の協働学習	服部 明子 (77～ 82)
材料加工での学習に困難を感じる生徒への学習支援	魚住 明生・村瀬 達耶 (83～ 88)
書表現に関する学生の意識の広がり —「書道研究 I」の実践を通して—	林 朝子 (89～ 95)
ESD の視点に立った中学校家庭科の授業実践研究 ～仮設住宅を通して考える～	吉岡 良江 (97～102)
特別支援学校における障がい特性に応じたワンタップ教材の開発と授業実践	北村 京子・菊池 紀彦・下村 勉・須曾野仁志 (103～108)
小学校特別支援学級におけるタブレット端末の活用実践と効果	勝井まどか・下村 勉・須曾野仁志 (109～112)
小学校におけるタブレット端末を用いた学習活動を支える Moodle 活用の検討	福島 耕平・下村 勉 (113～118)
データロガーを活用した理科教材開発とマニュアルの作成	尾上 修一・平山 大輔・後藤太一郎 (119～123)
公立中学校における校内適応指導教室の役割と活用に関する実践研究	平井 智子・瀬戸美奈子 (125～130)
反社会的問題傾向のある生徒へのチーム援助	宮本 秀男・瀬戸美奈子 (131～136)
仲間と対等な関係を築くことばの指導 ～言語通級指導教室におけるグループ指導の評価～	伊左治智香子・瀬戸美奈子 (137～142)
校内適応指導教室のシステム構築 —中学校の実践を通して—	諸戸美奈子・瀬戸美奈子 (143～148)
自己肯定感を育む学級活動の実践 —自分を「プロデュース」する授業を通して—	品川紀久子・中西 良文 (149～154)
〈研究員・研究協力員とテーマ一覧〉	(155)
〈教育実践総合センター年報〉	(156～159)
〈教育実践総合センター規程〉	(160～161)
〈教育実践総合センター運営委員会内規〉	(162)
〈教育実践総合センター紀要 執筆・編集要項〉	(163)